

病院

7

Vol.81 No.7
2022 July

特集

選定療養・評価療養制度の これから

対談

印南一路 × 松田晋哉

慶應義塾大学総合政策学部教授

産業医科大学公衆衛生学教室教授

特別記事

東山四画面思考経営

「ありがたい姿」を実現する全員主役の組織づくり

連載

医療機関で起きる法的トラブルへの対処法

事例と財務から読み解く

地域に根差した中小病院の経営

アーキテクチャー×マネジメント

日本医科大学武蔵小杉病院



よい病院は
どうあるべきかを
研究する

病院

次号→2022年8月号 予告

特集

病院給食の新しいカタチ

本誌では2019年4月号で「どうする、病院食」を特集した。病院給食部門が赤字化して病院経営を圧迫していることと、食品衛生法の改正により病院のHACCP対応が義務化されたことを踏まえた特集であった。その後、果たしてこれらの課題は解決したのか、また、そもそも病院給食の役割は何なのか。今回の特集では、あらためて病院給食部門が赤字に陥っている理由を深掘するとともに、病院給食問題の解決方法について、病院給食管理(厨房業務)の視点とNSTを含む臨床栄養管理の視点に分けて検討を加える。食事療養費制度を含む診療報酬の在り方に関する解決法の試案、管理栄養士の教育システムの改定と求められるスキルの変化、疾患別栄養管理法から栄養成分別栄養管理法へのシフトや、食事療法としての病院給食の視点、飛躍的に発展した調理技術や保管技術の視点、完全調理済み食品の導入、課題解決に果敢に挑戦している病院の実例など、さまざまな角度から、病院給食の新しいカタチについて特集する。

【総論】

病院給食の問題解決に向けて／今村 英仁

病院給食の歴史の変遷と赤字化の理由—ヒト・モノ・カネの視点から現状を分析する／高野 正樹

病院給食(厨房業務)の現場の課題／渡辺 正幸

病院給食制度についての提言／池上 直己

成分栄養管理と食事調製の連動／田村 孝志

【食事療法としての病院給食】

教育カリキュラム改正で管理栄養士の役割は変わったか—新しい管理栄養士の病棟栄養管理と厨房運営／渡邊 啓子

NSTと病院給食の理想の関係はあるか／宮澤 靖

地域包括ケアシステムにおける在宅NST／菅原 由至

【病院厨房の未来】

病院厨房の未来／窪田 伸

完全調理食品の導入—病院給食の新しいカタチ／高橋 洋

グループ内セントラルキッチンを試み／鍋嶋 和子

【対談】病院給食と臨床栄養管理の両輪を回す／中村 丁次×今村 英仁

【連載】

アーキテクチャー×マネジメント

医療機関で起きる法的トラブルへの対処法

ケースレポート 地域医療構想と病院

編集顧問

池上 直己

猪口 雄二

岩崎 榮

大道 久

河北 博文

竹内 實

広井 良典

編集委員

神野 正博〔主幹(社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 理事長)〕

今村 英仁(公益財団法人慈愛会 理事長)

太田 圭洋(社会医療法人名古屋記念財団 名古屋記念病院 理事長)

川原 丈貴(川原経営グループ 代表)

松田 晋哉(産業医科大学公衆衛生学教室 教授)

松原 由美(早稲田大学人間科学学術院 教授)

編集協力委員

寛 淳夫(工学院大学建築学部 教授)

小林 健一(国立保健医療科学院 席主任研究官)

(五十音順)

発行

株式会社医学書院

代表者

金原 俊

〒113-8719

東京都文京区本郷1-28-23

本誌編集室直通

☎ 03-3817-5719

FAX 03-3815-7802

byoin@igaku-shoin.co.jp

(担当: 松永、鈴木、今田)

医学書院ウェブサイト

www.igaku-shoin.co.jp

『病院』URL

www.igaku-shoin.co.jp/journal/541

『病院』Facebook

www.facebook.com/igsbyoin

印刷所

横山印刷株式会社

広告・別刷

株式会社医学書院 販売・PR部

☎ 03-3817-5696

表紙・本文デザイン

土屋 みづほ

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

©2022, Printed in Japan

病院(第81巻第7号)

2022年7月1日発行(毎月1回1日発行)

定価:3,300円(本体3,000円+税10%)

2022年 年間購読料(税込、送料弊社負担)

冊子版36,564円

電子版/個人36,564円

冊子+電子版/個人42,064円

販売・PR部直通

☎ 03-3817-5650

FAX 03-3815-7804

◎本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。

◎本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には